

JICA横浜 海外移住資料館オンラインセミナー
第五回JICA海外移住「エッセイ・評論」部門優秀賞受賞者講演

日本人移民が向き合う 孤独と母語教育・同胞コミュニティの重要性 － 1950年代の北米報知の記事を起点に －

日時 2025.12.20 土 10:00-11:30

講師

講師略歴



長沼 彩花 氏

オタワ大学国際公共政策大学院修士課程
第五回JICA海外移住「エッセイ・評論」部門優秀賞受賞者



カナダ、オタワ大学国際公共政策大学院修士課程に在籍。専門は気候変動適応、災害レジリエンス、移住と社会インフラの政策分析。日本では地方自治体勤務や中小旅館の再建を通じた地域活性化に従事。カナダでは心理学の研究者とともに、在加日本人の文化適応とメンタルヘルスに関する調査・研究の経験を持つ。現在は国連機関や国内外の研究機関・シンクタンクと協働し、災害や気候変動に脆弱なコミュニティにおける移住や政策分析に取り組んでいる。

講演内容

移民が異国で適応するプロセスにおいて、なぜ母語教育と同胞コミュニティが重要であるのか。1958年に北米報知に掲載されたバンクーバー日本共立語学校の佐藤傳校長（当時）のコラム「日本語の必要」を出発点にし、佐藤校長が日本人移民へ日本語の重要性を強調した理由とその背景を追求します。

戦前戦後の北米における日本人移民コミュニティの歴史を振り返り、母語教育が移民の社会的結びつきに与える影響や現代の日本人移民が直面する孤独やメンタルヘルスの問題を取り上げ、自身の移民体験を振り返りながら、今後の多文化社会での文化とアイデンティティの尊重の重要性についても考えていきます。



二次元コードを読み込むと
受賞作品を読むことができます。

開催形式



Zoom Webinar
事前登録制



▲事前登録はこちらから

第七回JICA海外移住
「論文」および「エッセイ・評論」募集開始！
【募集期間】
2025年 2026年
12月上旬(予定)～6月30日(火)
※詳細は当館ホームページをご覧ください。



JICA横浜 海外移住資料館



045-663-3257



jomm02@jadesas.or.jp

参加登録用URL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_0x-FC4_5S6OIkrpOq060mw

